

お城コース



柳澤神社



極楽橋



郡山城天守台

大和郡山バリアフリー観光マップ

車いすもベビーカーも 楽しく観光していただくために



大和郡山歴史同好会

城下町コース



箱館「紺屋」



郡山八幡神社

本家菊屋



源九郎稲荷神社

薬園八幡神社

お城コース

行程案内

近鉄郡山駅から出発し郡山城跡・天守台裾を巡って近鉄郡山駅に戻ってくる行程約2kmコースです。戦国時代の野面積み石垣が良好に残る郡山城跡を観光できますが、駅と天守台裾は標高差が約20mで介助者なしでは車いすが進めない急坂が2ヶ所と踏切1ヶ所があります。また、城跡内郡山高校前の道路は、車の交通量が多く充分注意する必要があります。



1 近鉄郡山駅

スタート・ゴールです。駅舎にはスロープが設置されています。



1 郡山駅前商店街看板

商店街の看板のある道を東へ進みます。



2 旧郡山小学校跡門柱を左折

門柱を左折して北へ進みます。門柱は、昭和46年までここに郡山小学校があった名残りです。



5 踏切

車いすの前輪が、線路の隙間に入り込まないように注意が必要です。



4 郵便ポストの交差点

道路を横断します。信号がない横断歩道なので、注意が必要です。



3 市役所前交差点

交差点を直進します。江戸時代ここは郡山城の正面入口「枳形」でした。



6 踏切から鉄門跡

踏切の先に鉄門跡があります。この辺りから天守台まで急坂が続き、手動車いすの登坂では介助者はかなり力が必要です。



7 Y字路

道路を横断してY字路を右へ進むと内堀ビューポイントへ行けます。車の通行が多いため、横断時十分注意が必要です。



8 柳澤神社鳥居

2021年鳥居から竹林門跡までが舗装されました。

1 内堀ビューポイント

6 柳澤神社

5 逆さ地藏

4 伝羅城門礎石

3 天守台



11 白沢門跡から天守台へ

白沢門跡から天守台への園路も車いすには勾配がきつく、ここでも介助者のサポートが必須です。

2 極楽橋



10 白沢門跡

白沢門は、極楽橋の本丸側に建てられた櫓門でした。今は櫓台石垣が残ります。



9 竹林門跡

竹林門跡は石畳の急坂になっており、車いすでここを通行するときは介助者のサポートが必須です。

お城コース地図

凡例

	公共トイレ
	車いす対応トイレ
	コインロッカー
	バスターミナル
	タクシー
	コンビニエンスストア



① 内堀ビューポイント

内堀を水面近くから見られる場所です。
Y字路から50m程のところに植栽の切れ目があります。



② 極楽橋

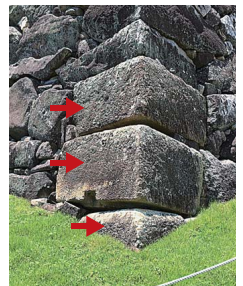
江戸時代本丸登城に使われ、明治初期に失われていた極楽橋が、2021年再建されました。内堀からの高さは約8mです。車いすは、橋の中程までは行けませんが、東側が階段になっていて渡ることはできません。

※柳沢文庫に前もって申込みをすると極楽橋に簡易スロープを設置してくれます。



③ 天守台

郡山城天守台は、戦国時代終わりころ豊臣政権のもとで作られた「野面積み」石垣が良好な状態で残り、歴史遺跡として非常に価値の高いものです。石垣の中には、寺院の礎石・石塔・石仏など多数の転用石材が使われているのが大きな特徴です。2022年11月郡山城跡は国の史跡に指定されました。天守台裾の園路は平坦で舗装されています。高さ約8.5mの天守台には階段で登るため、車いすでは行けません。



④ 伝羅城門礎石

平城京の南の正門である羅城門の礎石と伝えられます。兵庫県高砂市で産出される「亀山石」という特別な石材です。平城京羅城門は、奈良時代ここから東に約1.5kmの場所にありました。

郡山城跡地図



⑤ 逆さ地蔵

郡山城跡で最もよく知られる転用石材です。仏身約90cmの立像で大永3年(1523)の刻銘があります。

石垣の比較的低いところに位置するので車いすからも問題なく見えます。



⑥ 柳澤神社

柳澤神社の祭神は、1724年郡山藩主となった柳澤吉里の父で、五代将軍徳川綱吉の側用人となった柳澤吉保です。郡山城天守台上から小さく見える東大寺大仏殿の再建事業においても、吉保は将軍綱吉と桂昌院の側近として幕府側の窓口となり、大きな役割を果たしました。



絵馬



● 柳沢文庫

柳澤家から寄贈された歴代藩主の書画・和歌や古文書を所蔵し、郡山城主柳澤家ゆかりの展覧会を開催しています。
 入館料：一般300円
 開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
 休館日：毎週月曜・第4火曜
 車いすでは、本丸から極楽橋を渡って柳沢文庫に行くことはできません。館内はバリアフリー非対応です。



御城印

令和6年(2024) 郡山入部300年となる柳澤家

江戸時代中期の1724年、郡山藩主柳澤吉里は、甲斐国(山梨県)から大和郡山に多くの家臣とその家族、そして、菩提寺の永慶寺とともに転封して来ました。また、この時金魚を持ってきたという説もあります。

金魚養殖は、幕末から明治初期のころ、最後の郡山藩主となった柳澤保申の奨励・援助により職禄を失った藩士や農家の副業として盛んに行われるようになりました。

柳澤家では、吉里の父吉保の時代から文教政策を重視し、保申も奈良県尋常中学校(現在の奈良県立郡山高校)の創立に尽力しました。



ふくしゅうどうねんろく
福寿堂年録
(柳澤吉里の公用日記)
奈良県指定文化財



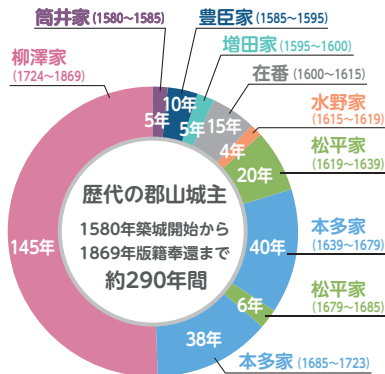
柳澤保申伯頌徳碑
(頭彰碑)



金魚は大和郡山のシンボル
毎年約5,800万尾が出荷
されています。



郡山城跡への丸跡にある
奈良県立郡山高校



1 近鉄郡山駅トイレ



洗浄装置なし便座、おむつ交換台、オストメイト用設備を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



2 城跡観光トイレ



洗浄装置付き便座、ベビーチェア、おむつ交換台、オストメイト用設備を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



3 城趾公園(西公園)トイレ



洗浄装置付き便座を備える単機能型。車いすの転回可能な広さがあります。女性用トイレのみおむつ交換台と小児用小便器があります。



4 DMG MORI やまと郡山城ホールトイレ



洗浄装置付き便座、おむつ交換台を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



5 元気城下町バスパークトイレ



洗浄装置なし便座、ベビーチェア、おむつ交換台、オストメイト用設備を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



6 市役所トイレ



洗浄装置付き便座、ベビーチェア、多目的シート(おむつ交換など)、オストメイト用設備を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。

城下町コース

行程案内

近鉄郡山駅から出発し城下町を巡って近鉄郡山駅に戻ってくる行程約2.5kmのコースです。行程は概ね平坦ですが、城下町であるため道幅が狭く、行程の6割強の道が歩車分離されていません。自動車の交通量の多い道もあり充分注意する必要があります。また、側溝にフタが無い所がありこれも注意が必要です。

① 金魚ストリート やなぎまち商店街



① 近鉄郡山駅
スタート・ゴールです。駅舎にはスロープが設置されています。



① 郡山駅前商店街看板
商店街の看板のある道を東へ進みます。



② 郡山駅前商店街
道の両端に看板・自転車・電柱等があり、車いすで走り難く、自動車の交通量も多いです。



③ 玉井時計店
玉井時計店前を右折し南へ進みます。



⑦ 新紺屋町交差点
自動車が交差点で信号待ちしていると車いすが走るところが無くなってしまいます。



⑥ 柳町から洞泉寺町へ
柳町から洞泉寺町へ道が細く、側溝にフタが無い所が多いです。



⑤ やなぎまち商店街を右折
北谷呉服店を通り越し約50mの交差点を右折し東へ進みます。ここから道が細くなります。



③ K COFFEE
② 郡山八幡神社



④ やなぎまち商店街
電柱等があり、車いすで走り難く、自動車の交通量も多いです。また、側溝にフタが無い所があります。



⑤ 中嶋源九郎餅本舗
⑧ 矢田筋
道路脇に水路があり、注意が必要です。



⑥ 薬園八幡神社
⑨ 矢田筋から外堀緑地へ
横断歩道を渡って左折し外堀緑地を進みます。



⑦ 外堀緑地
⑩ マンション手前を左折
外堀緑地内は石畳です。左折しスロープ付の小さな橋を渡り西へ進みます。



⑪ 紺屋町東詰
紺屋町東詰では今も道の中央に水路があるので、注意が必要です。自動車も通ります。



⑬ 市役所前交差点
横断歩道を渡り、近鉄郡山駅へ戻ります。



⑭ 市役所前
本家菊屋角の交差点で道路を市役所側へ渡り歩道を西へ進みます。



⑩ 本家菊屋
⑮ 柳町の通り
電柱等があり、車いすで走り難く、自動車の交通量も多いです。



⑨ 中谷酒造 柳町醸造所
⑧ 箱本館「紺屋」



⑫ 蘭町線を横断
道路を横断します。信号がない横断歩道なので、注意が必要です。

城下町コース地図



凡例

	公共トイレ
	車いす対応トイレ
	コインロッカー
	レンタサイクル
	バスターミナル
	タクシー
	コンビニエンスストア

近鉄豊原線

大和郡山市役所



三の丸会館



奈良信用金庫
本店

10 本家菊屋

10 本家菊屋 御城之口餅

奈良県で最古の和菓子屋さんです。郡山城主豊臣秀長が、兄秀吉をもてなすため菊屋治兵衛につくらせた粒餡きな粉餅、それが今日も伝統製法で作られる御城之口餅(おしろのくちもち)なのです。店舗入口に小さな段差がありますが、店内は車いすの転回が可能です。



近鉄郡山駅



9 中谷酒造
柳町醸造所

8 箱本館「紺屋」

玉井時計店

矢田筋

1 金魚ストリート
やなぎまち商店街



御金魚帖

1 金魚ストリート
やなぎまち商店街

店先には様々な水槽が設置され「まちなか金魚水族館」になっています。お店を巡るスタンプラリー「御金魚印」と「御金魚帖」もあり、金魚と町歩きの間方を楽しめます。



御金魚印

2 郡山八幡神社

古くからの郡山鎮守神で、地元では「柳八幡宮」と呼び親しまれています。近年は「グラブ神社」としても有名です。入口部分は砂利敷ですが、参道にはスロープがあり、境内へ参拝できます。小さな段差があるため介助者のサポートがあった方が安全です。



絵馬



5 北谷呉服店

4 源九郎稻荷神社



3 K COFFEE

ガソリンスタンド跡を再生した焙煎所・コーヒースタンドで、誰もが気軽に立ち寄れるお店です。店舗はオープンエアで段差がありません。

2 郡山八幡神社

K COFFEE



9 中谷酒造 柳町醸造所

嘉永6年創業の地元造り酒屋が2022年秋新たに開業した醸造所です。貴重な展示物を見ながら出来たての日本酒が楽しめます。

入口スロープが少し急ですが、1階は車いすで動くのに十分な広さがあります。



8 箱本館「紺屋」

江戸時代後期に作られた藍染商の町家を再生した観光施設です。館内には、「箱本十三町」関連資料、金魚ゆかりの美術工芸品「金魚コレクション」、セルフカフェ、オリジナルの藍染ショップ、藍染体験工房などがあります。通路が狭いところもありますが、館内施設は概ね車いすで利用できます。「金魚コレクション」は座敷に展示されているため車いすで見ることはできません。



7 外堀緑地

郡山城外堀跡を生かした公園です。16世紀終わり頃の外堀普請まで此処を秋篠川が流れていました。敷地内は石畳ですが、段差がなく平坦に仕上げられています。



4 源九郎稻荷神社

歌舞伎・文楽に登場する「源九郎狐」をお祀りする神社です。日本三大稻荷の一つで、五穀豊穰、商売繁盛の神様として人気があります。

鳥居から本殿までは砂利敷なので手動車いすでは力が要ります。



土鈴



5 中嶋源九郎餅本舗

源九郎餅は、かつてお店が源九郎稻荷神社門前にあった頃の雰囲気をも感じさせる素朴な焼き餅です。

店頭の段差が解消されていて車いすで入店できます。



源九郎餅



6 薬園八幡神社

薬園(やくおん)の社名は、奈良時代薬草園の地に造営されたことに由来すると伝えられます。地元では「やこうさん」と呼び親しまれる古社です。

境内は石畳で概ね平坦です。拜殿にはスロープが設置されているので奥まで参拝できます。



招きねこみくじ

藍染体験 ふれ藍工房 綿元

郡山城主 豊臣秀長は、地子免(土地への免税)^{じしめん}や特許状(独占営業権)によって各地から有力な商人・職人を郡山に集め、城下町の振興をはかりました。紺屋もその一つで、奈良盆地内では郡山以外での藍染を禁止し、城下の紺屋町で営業させました。大和郡山の藍染には、秀長の特許状発行から400年以上続く歴史があるわけです。

現在も城下町には2つの藍染工房があり、体験コースでは日本の伝統的藍染で自分だけのオリジナルのハンカチやストールを作ることができます。

そのひとつ「ふれ藍工房 綿元」は、1989年に大和郡山の藍染の歴史を復活させた工房です。当地の気候と水質を研究し日本の伝統的な藍色の美しさを追求しています。2時間程度の作業で完成して持ち帰りできるハンカチの藍染から、上級者向けの花弁染め(工房独自の板締め技法)までさまざまな技法の藍染めや草木染めを体験できます(一度に最大40人まで)。近年は海外からのお客様も来られます。また、伝統的な藍染を使いたい外部の作家・事業者にも広く門戸を開けているのも「ふれ藍工房 綿元」の大きな特徴です。



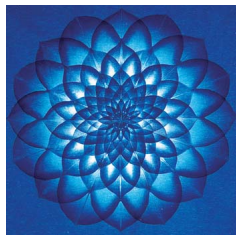
布を絞って藍染→水洗を繰り返します



完成です！



ふれ藍工房 綿元



工房独自の花弁染め

営業時間：9:00～17:00(藍染体験は要予約)

定休日：不定休 電話：0743-52-2328

大和郡山市北郡山町244 お城コース地図 **11**

工房の入口が5cmくらいの段差になっていますが、簡易スロープを設置してくれます。藍甕は車いすで作業しやすい高さですが、手作業に慣れていない人は介助者が必要です。作業用のエプロンや手袋を借りられますが、汚れてもかまわない服装のほうが良いです。



7 外堀緑地トイレ



洗浄装置付き便座を備える単機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



8 三の丸会館トイレ



洗浄装置付き便座、ベビーカー、おむつ交換台を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



9 JR郡山駅トイレ



洗浄装置なし便座、おむつ交換台、オストメイト用設備を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。



10 市民交流館トイレ



洗浄装置付き便座、おむつ交換台を備える多機能型。車いすの転回可能な広さがあります。

凡例 車いす対応トイレ

温水洗浄便座

ベビーカー

おむつ交換台

オストメイト用設備

呼び出しボタン

400年前の城跡と町割が残る大和郡山



筒井順慶



豊臣秀長

郡山城の歴史は、1580年大和の戦国大名 筒井順慶の築城に始まります。1585年には豊臣秀長(秀吉弟)が、郡山に入部し百万石の石高にふさわしい城郭と城下町の建設を開始しました。秀長は、各地から有力な商人・職人を城下東南に集めて自治権や独占営業権を与え、強力な城下町振興策を進めました。これらの町は「箱本十三町」と呼ばれ、江戸時代の郡山藩主にも継承されたため、郡山は大和国の政治経済の中心として栄えました。



赤色の部分が町人地・寺社地「城下町コース」のほとんどが江戸時代すでにあった道です。
安政年間 和州郡山藩家中岡柳沢文庫蔵に加筆

協賛 (順不同)



中谷酒造株式会社
Nakatani Brewing Co., Ltd.



FUJIMOTO KENSETSU Inc. since1964



後援 (順不同)

大和郡山市

一般社団法人 大和郡山市観光協会

大和郡山市商工会

公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会

筒井順慶顕彰会

大和郡山歴史同好会webサイト

https://nstudio.jp/Yamato_Koriyama_History_Club_index.html



スマホ版 大和郡山御朱印マップ

<https://nstudio.jp/syuinmap/>



大和郡山バリアフリー観光マップ

発行:大和郡山歴史同好会 発行日:2023年1月1日

このマップは「大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業」の支援を受けて作られました。

掲載情報は2022年12月現在のものです。様々なお客様を対象とする観光マップとして、車いすでは入れない施設・場所も掲載しています。

歴史文化の観点から大和郡山市まちづくり戦略課文化財保存活用係の監修を受けています。

掲載されている施設・店舗の許可をいただいています。

大和郡山バリアフリー観光マップの文章・写真・画像の二次使用・無断転写はお断りします。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。